

# クラブ・レポート

●当欄はライオンズ、レオ、ライオネスの活動報告を扱います。投稿要領は54ページ参照

## 富山県・高岡ライオンズクラブ 障がいのある子どもたちと共に絆音楽会



高岡ライオンズクラブ（宮重清会長／55人）は認証55周年記念事業として、記念式典に先立ち、4月7日（土）14時～15時にウイングウイング高岡4階ホールにて「絆音楽会〜障がいのある子供達と一緒に創る音楽会〜」を開催致しました（高田政公記念大会委員長）。

当クラブが30年以上前から毎年、遠足・海水浴・プール・スキー・障害者スポーツなどを通して交流させて頂いている、高岡市きずな子ども発達支援センター、高岡市立こまどり支援学校、富山県立高岡聴覚総合支援学校の児童・生徒・保護者・職員の方々150人と、ライオンズクラブ関係者150人が共に大変楽しく充実した時間を過ごしました。

音楽会の曲目はなじみのある童謡・歌謡曲や日頃各学校で歌っている曲を採用し、演奏を依頼した「バランス」（県内の音楽講師らを中心とした教育機関での演奏経験も豊富なグループ）と共に当クラブのメンバーが各校を



3月21日、こまどり支援学校と高岡聴覚総合支援学校で行われた事前練習。音楽が大好きな子どもたちは、少し緊張しつつも楽しそうに練習に取り組んでいた（写真／明人）



回って、事前練習会を行いました。

音楽会当日、今年度の国際会長テーマにも通じる「Believe」（杉本竜一作詞・作曲、NHK「生きもの地球紀行」エンディングテーマ）という曲では「I believe in future 信じる」という部分を会場全体で手話を付けて歌い、最後に「夕日」（葛原しげる作詞・室崎琴月作曲）を全員で合唱しました（葛原氏は広島県福山市神辺町出身、室崎氏は高岡市出身で、それを縁に神辺ライオンズクラブとは姉妹提携を結んでいます）。

音楽を通して、子どもたちに明るく元気に「生きる力」を感じてもらいたいという思いで開催した音楽会でしたが、彼らが純粹無垢に取り組む姿勢や生き生きとした表情から、私たちメンバーが大きな力をもらいました。会員一同、55年の歴史と伝統を守りながらも、時代の要請に応え、地域に必要とされるライオンズクラブの姿を実現するべく努力する決意を新たに致しました。

（幹事／室矣昇隆）